

人間環境学研究科 人間環境学専攻 博士後期課程

【教育目標】

人間環境学研究科は、持続可能な社会、循環型社会への転換をめざし、ひとりひとりの自発的・積極的な活動が求められる時代において、新しい社会の創出に向けて、具体的な課題を見出し、人間関係の構築、地域および地球環境の保全、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成する。

このことを踏まえて人間環境学専攻博士後期課程では、人間環境学の高度な専門知識を有し、自立して研究活動を行うとともに、あらたな人間環境学領域の研究を開拓できる人材を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

人間環境学専攻博士後期課程では、人間活動と地球環境の持続可能な社会の構築に向けての実践力を有するとともに、あらたな人間環境学領域の研究を開拓する人材の育成という教育目標に基づき、以下に掲げる目標を達成し、所定の単位を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格した学生に対し、課程の修了を認定し、博士（人間環境学）の学位を授与する。

1. 自ら環境に係る課題を見出し、それを解決するための研究計画を立案し、さらに遂行していく能力を獲得している。
2. 高度な専門的業務への従事または研究者として自立し得る専門性を有している。
3. 環境課題を人間系との関わりをもとに発見し、高い倫理観のもとでその解決策を提案できる。
4. 国内外の研究機関および関連分野の研究者に評価される論文を発表し、相互の理解を深化させるコミュニケーション能力を身につけている。
5. 研究に関する総合的判断力、独創性、問題解決能力を当該研究分野および社会においても発揮し、自立した研究者として学問の発展や人間・自然・社会の諸問題の解決に貢献することができる。

【カリキュラム・ポリシー】

人間環境学は、人間をとりまく科学技術、文化、経済などと環境の相互作用を扱う、従来分野の境界領域に位置する新しい学問分野であるため、幅広い視野と豊かな創造力、深い倫理観を醸成するためのコースワーク科目として「人間環境学特殊講義」を、高度な専門知識を習得し、先進的な研究活動に取り組むことのできるリサーチワーク科目として「人間環境学特殊研究」を配置し、いずれも能動的な学修が行えるようにします。

【アドミッション・ポリシー】

人間環境学専攻では、人間とその環境に深く関心を持ち、文理融合の知と専門的な技術、そしてそれらを発揮できる高度な実践力を身に付けようとする創造力と意欲に富み、以下の能力を身に付けていることはもちろん、これに加えて深い学識と高度な技術習得に裏付けられた高い研究能力を身に付けて、専門的職業人や研究者として積極的に社会に貢献しようとする学生を募集します。

（求める学生像）

1. 環境に関連する1つ以上の分野における基礎的な知識と分析の技能を備えている。
2. 自ら課題を発見し解決するために必要な、思考力と判断力を有する。
3. 高度な専門分野の学修と研究活動を主体的かつ他者と協働して行うための積極的な意欲と表現力を兼ね備えている。
4. 深い探究心を持ち、高度な専門性を必要とする職務を担おうとの目標を持っている。

（選抜方法）

なお、入学者選抜は以下の方法および比重とし、論理的思考、論述能力、研究業績と研究計画、口頭試問への対応力等の多角的な評価を行います。

- ・外国語(33%)、論文(33%)、面接(33%)

改正 2022年2月25日